

【技術分類】 2 3 - 4 - 5 自動二輪車ブレーキ / 制動装置 / 機能部材

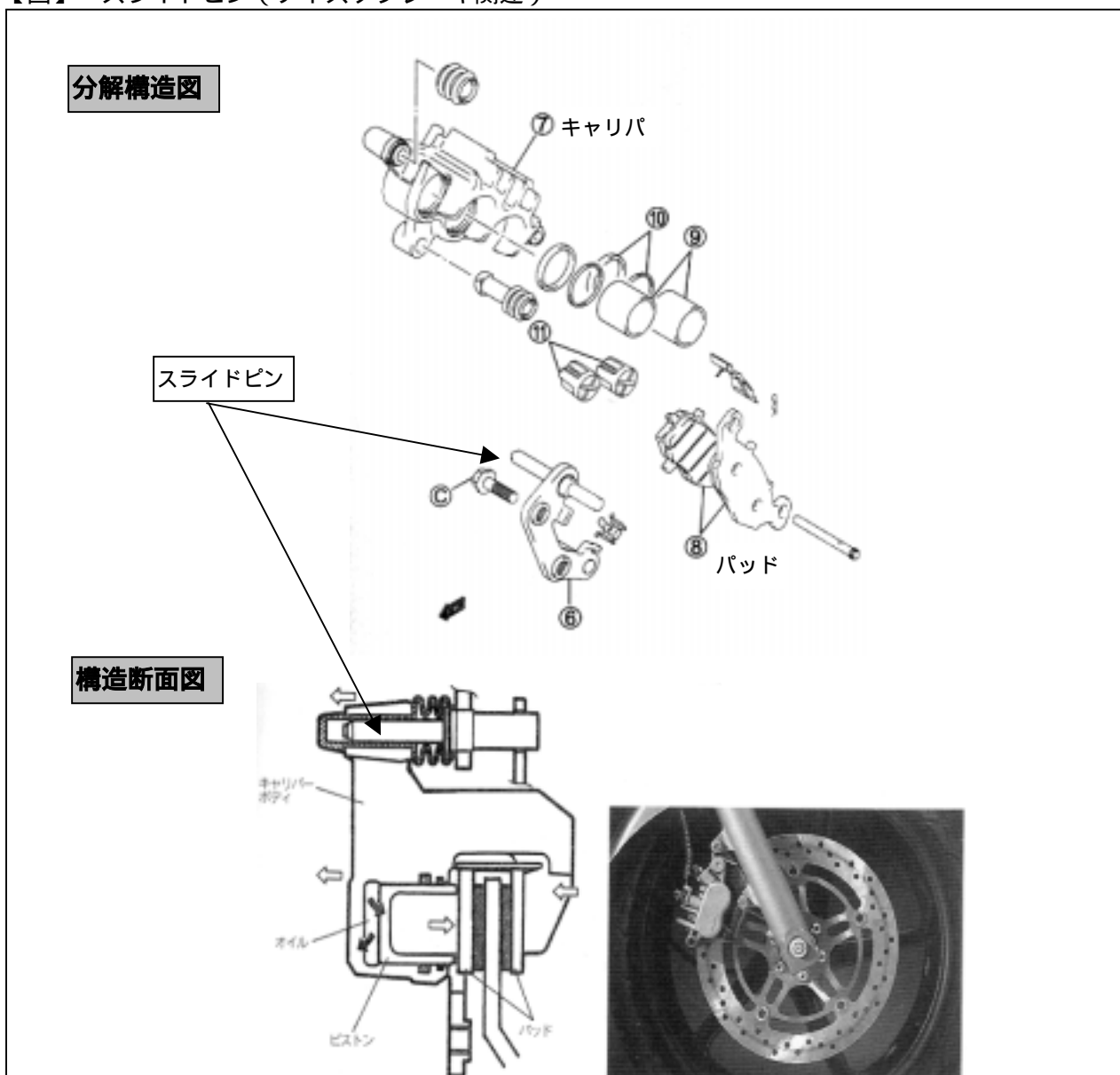
【 F I 】 F16D 65/02@L

【技術名称】 2 3 - 4 - 5 - 1 スライドピン (ディスクブレーキ関連)

【技術内容】

スライドピン(あるいはガイドピンともいう)は浮動型キャリパにおいて、ブレーキ圧がピストンに加わった際、キャリパが横方向にスライドするためのガイドの役目をするもので、蛇腹のついたゴムのシールを挟んでキャリパーガイドピン穴を出入りする。シールは中に少量のグリースを保持し、外部からの埃や水の浸入を防いでキャリパがスムーズに動くようにしている。

【図】 スライドピン (ディスクブレーキ関連)



出典 : (分解構造図) 「 Suzuki サービスマニュアル Intruder Classic800 」 No.40-25A20、 2001 年 3 月、スズキ株式会社 国内サービスグループ編、スズキ株式会社発行、8-9 頁 フロントブレーキ構成図

(構造断面図) 「 バイクのメカ入門」、 1999 年 5 月 12 日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ出版発行、185 頁 ピンスライド型キャリパー

【出典 / 参考資料】

「Suzuki サービスマニュアル Intruder Classic800」No.40-25A20、2001 年 3 月、スズキ株式会社 国内サービスグループ編、スズキ株式会社発行

「バイクのメカ入門」、1999 年 5 月 12 日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ出版発行

【技術分類】 2 3 - 4 - 5 自動二輪車ブレーキ / 制動装置 / 機能部材

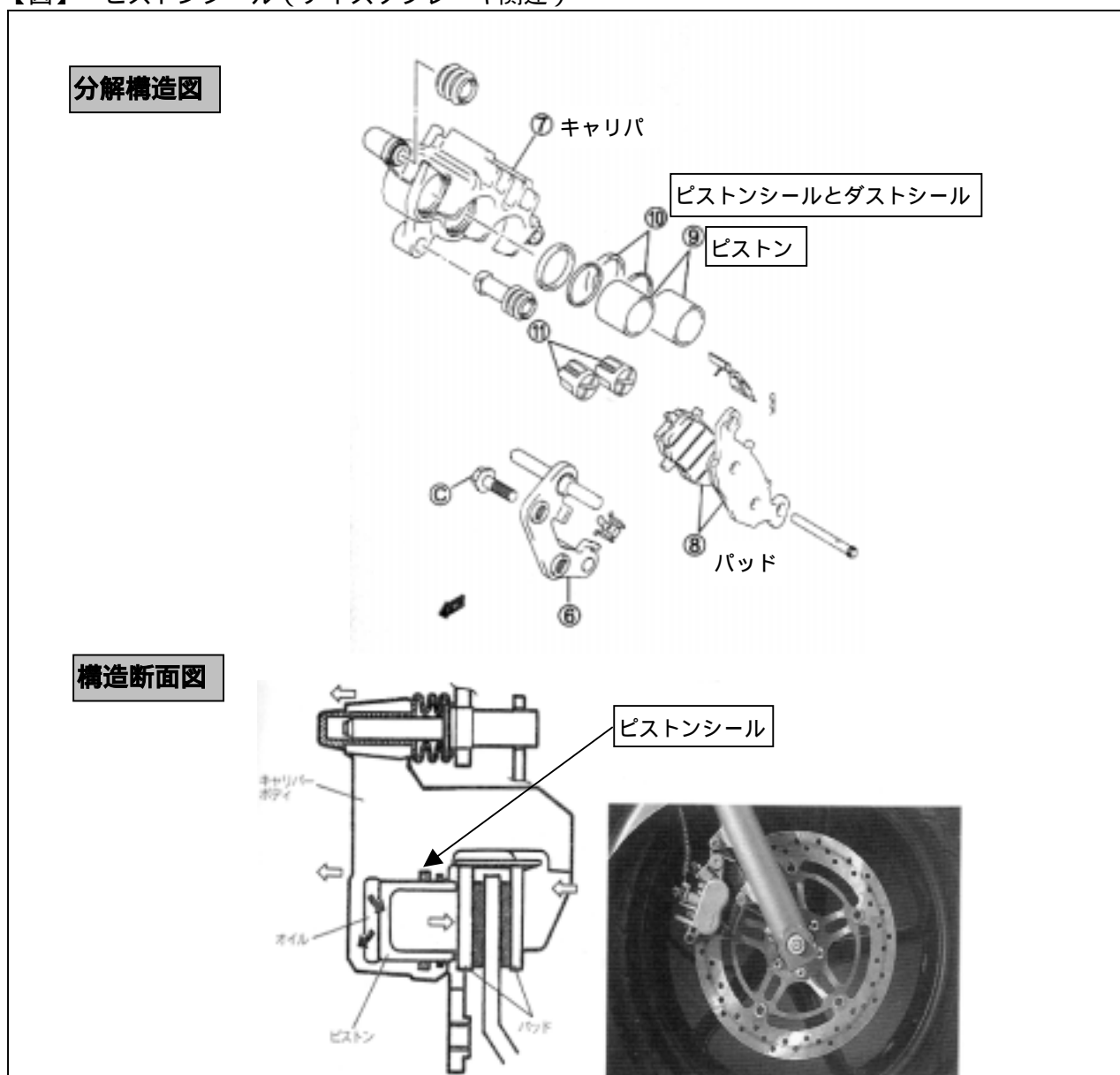
【 F I 】 F16D 65/20@D

【技術名称】 2 3 - 4 - 5 - 2 ピストンシール (ディスクブレーキ関連)

【技術内容】

キャリパに内蔵されたピストンのはめあい部のすきまからブレーキ作動液 (一般にはブレーキオイル) が漏れ出さないようにするシールである。このオイルシールはまた、その断面形状と溝形状が工夫がされており、ブレーキ時にディスク面にパッドが当たるまで出たピストンを、ブレーキを解除した際にその滑り抵抗と弾性でほんの少し戻してやり、戻しスプリングがなくてもパッドをディスク面よりわずかに離すようにする働きもする。なお、このシールの外側には埃の侵入を防ぐためのダストシールを設ける。

【図】 ピストンシール (ディスクブレーキ関連)



出典 : (分解構造図) 「 Suzuki サービスマニュアル Intruder Classic800 」 No.40-25A20、2001 年 3 月、スズキ株式会社 国内サービスグループ編、スズキ株式会社発行、8-9 頁 フロントブレーキ構成図

(構造断面図)「バイクのメカ入門」、1999 年 5 月 12 日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ
出版発行、185 頁 ピンスライド型キャリパー

【出典 / 参考資料】

「Suzuki サービスマニュアル Intruder Classic800」No.40-25A20、2001 年 3 月、スズキ株式会社 国内サービスグループ編、スズキ株式会社発行

「バイクのメカ入門」、1999 年 5 月 12 日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ出版発行

【技術分類】 2 3 - 4 - 5 自動二輪車ブレーキ / 制動装置 / 機能部材

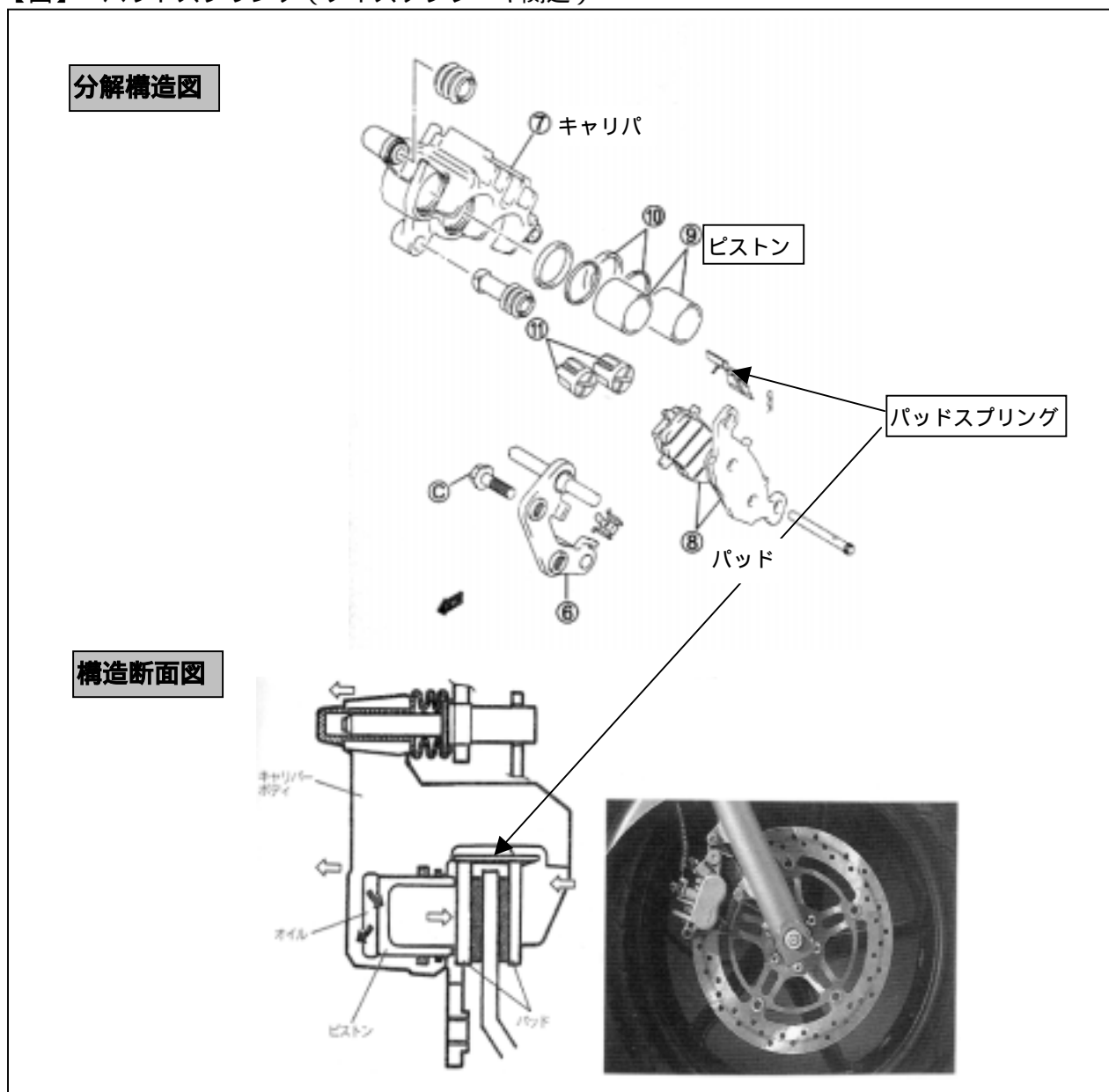
【 F I 】 F16D 65/097

【技術名称】 2 3 - 4 - 5 - 3 パッドスプリング (ディスクブレーキ関連)

【技術内容】

ブレーキを掛けない時、2枚のパッドがディスクに触れて異音が発生することがないようにする薄い板ばねである。これが無くてもブレーキの作動には支障はないが、これが無いとパッドが踊り、ディスクと僅かに触れた時、異音が発生する。

【図】 パッドスプリング (ディスクブレーキ関連)



出典：(分解構造図)「Suzuki サービスマニュアル Intruder Classic800」No.40-25A20、2001年3月、スズキ株式会社 国内サービスグループ編、スズキ株式会社発行、8-9頁 フロントブレーキ構成図

(構造断面図)「バイクのメカ入門」、1999年5月12日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ出版発行、185頁 ピンスライド型キャリパー

【出典 / 参考資料】

「Suzuki サービスマニュアル Intruder Classic800」No.40-25A20、2001 年 3 月、スズキ株式会社 国内サービスグループ編、スズキ株式会社発行

「バイクのメカ入門」、1999 年 5 月 12 日、つじ・つかさ著、株式会社グランプリ出版発行

【技術分類】 2 3 - 4 - 5 自動二輪車ブレーキ / 制動装置 / 機能部材

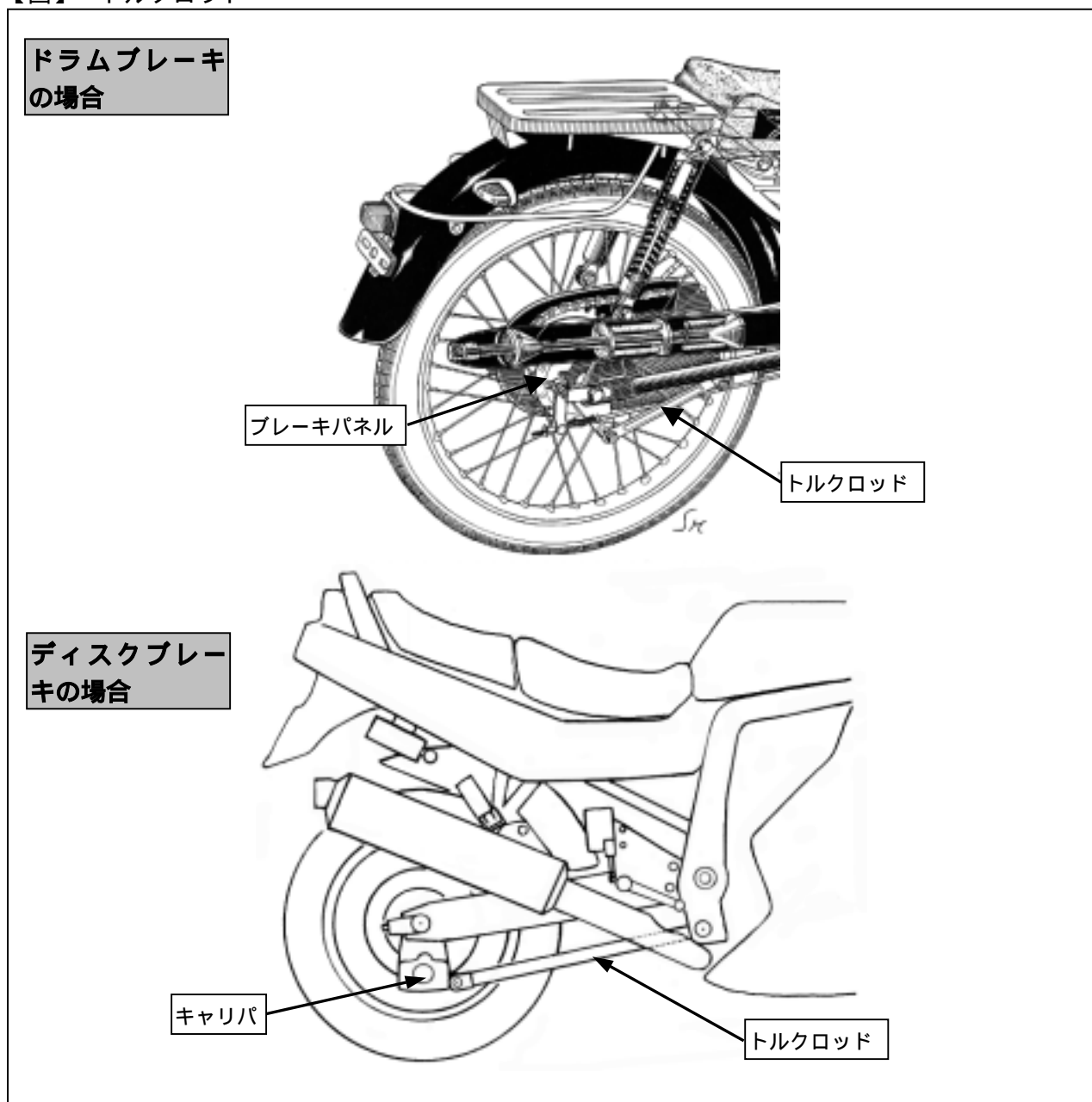
【 F I 】 B62K 19/38、 B62L 1/00@B

【技術名称】 2 3 - 4 - 5 - 4 トルクロッド

【技術内容】

ドラムブレーキではブレーキパネルを、ディスクブレーキでは一端を車軸へフローティング支持したキャリパの取り付けブラケットをスイングアームやフレームと連結し、ブレーキ反力（一般的には張力）を受ける働きをする。連結部をフレームまで伸ばしスイングアームとほぼ平行に配置するとブレーキ時の後輪サスペンションの沈み込みを軽減できる。（図下）

【図】 トルクロッド



(図上)出典：「モーターファン」1960年8月号、1960年8月1日、松本修吾著、三栄書房発行、143頁 トーハツ ランペット

(図下) 図は、参考資料を基に本標準技術集のために作成

(図上)【出典 / 参考資料】

「モーターファン」1960年8月号、1960年8月1日、松本修吾著、三栄書房発行

(図下)【参考資料】

インターネット Home Page ; Motorcycles of the 20th 、

Century <http://home.planet.nl/~motors-20th-century/motors.html>、

最終更新日 2005年2月6日、Bert Knoester 著、

<http://www.2tausend1.de/motors/normal/Suzuki-GSX-R1100-1990.jpg>、

検索日 2005年2月24日